

**日本栄養・食糧学会中部支部
平成 21 年度第 2 回評議員会 議事録**

日時 平成 21 年 11 月 14 日（土）12：00 から 12：40 まで

場所 名古屋大学大学院生命農学研究科大会議室

出席者 青木直人，伊藤宜則，大澤俊彦，太田好次，大森正英，小原章裕，茅原 紘，
岸 恭一，合田敏尚，杉山公男，津田孝範，長村洋一，早川享志，早瀬和利，
堀尾文彦，馬路泰蔵，松田 幹，森田達也，山下かなへ，横越英彦，渡辺達夫
合計 21 名（敬称略・ア行エ順）

書記 早瀬和利

I 審議事項

1. 平成 22・23 年度 支部役員を選出（早瀬 支部長）

次期事務局として、支部長 早川享志氏、副支部長 堀尾文彦氏、監事として青木直人氏が推薦され、承認された。支部長より、次期事務局の庶務幹事 長岡 利氏、会計幹事として後藤 剛氏を資料により紹介した。早川氏より挨拶があり、併せて、庶務幹事、会計幹事について含め次期事務局体制について説明があり、庶務幹事、会計幹事についても了承された。

続いて、阿部稚里氏、和泉秀彦氏、小林身哉氏、寺島健彦氏、森山三千江氏の 5 名が支部評議員として推薦され、承認された後、5 名の新任支部評議員含め、67 名の支部評議員並びに 13 社の特別会員について承認された。

2. 平成 22・23 年度 本部評議員・参与候補者を選出（早瀬 支部長）

平成 22・23 年度本部評議員として、資料の通り 18 名が推薦され、承認された。また本部参与候補者として 16 名が推薦され、承認された。中部支部より平成 22 年度本部参与に推薦するのは、小原章裕氏（平成 21 年度第 1 回評議員会で承認）の 1 名である。

3. 平成 22・23 年度 各種授賞等選考委員を選出（早瀬 支部長）

平成 22・23 年度各種授賞等選考委員の候補者が推薦され、承認された。

4. 平成 22 年度 事業計画（代理 早瀬 支部長）

平成 22 年度は、支部大会 2 回、支部評議員会 2 回行うことが承認された。

5. 平成 22 年度 予算 (会計代理 早瀬 支部長)

平成 22 年度予算が承認された。平成 21 年度からの主な変更点は次の通り

- ・ 「収入の部・補助金収入・学会本部補助金」
平成 21 年度実績とする。
- ・ 「支出の部・管理費・広報活動費」
今年度、外部業者に依頼し、支部の HP をリニューアルし、次期支部事務局でも継続して使用できるよう環境整備を行った。次年度からの、HP の維持経費として、年間 9 万円前後が見込まれ、広報活動費として 10 万円計上した。

II 報告事項

1. 本部ならびに大幸財団からの助成 (早瀬 支部長)

平成 21 年度収入について、次の 2 点が報告された。

- ・ 平成 21 年度会員増・若手活動強化費として、25 万円が認められた。
- ・ 平成 21 年度大幸財団助成に応募したところ、第 58 回支部大会助成として 5 万円が認められた。

2. 平成 22・23 年度支部選出理事候補者の選出 (岸 選挙管理委員長)

選挙管理委員長より、学会細則の役員の選出に関する規程に従い、支部の正会員による選挙を実施したこと、その結果、大澤俊彦氏と合田敏尚氏を候補者とすることが報告された。

3. 名誉会員および終身会員の推薦 (早瀬 支部長)

青山頼孝氏が名誉会員、徳田節子氏が終身会員の資格に該当するため、それぞれ、名誉会員、終身会員として本部に推薦することが報告された。

4. 理事会報告 (杉山 理事)

新しくリニューアルした学会 HP にアクセスしていただき、名簿情報の開示・非開示の設定をいただきたい旨案内があった。もし、開示・非開示の意思表示がない場合は、他の会員の情報もご覧になれないことが併せて紹介された。

日本が 2015 年アジア栄養学会議の開催地に決定し、開催地はパシフィコ横浜であることが報告された。

国際栄養学連合(IUNS)の理事会で、IUNS Fellow に、板倉弘重氏、野口 忠氏が選ばれたことが報告された。

本学会を新公益法人に移行するため、22 年度の総会で新定款 (案) を審議できるよ

う準備中であることのご案内があった。

22年度、徳島で開催予定の第64回大会の準備状況は順調に推移していることが紹介された。